

タウンミーティング記録 未来へ向けて 今、ここから

日 時 令和6年8月27日(火) 午後7時～8時45分
場 所 武蔵野会館（武蔵野町会）
参加者 30人



主な意見等

参加者 以前のタウンミーティングでもお話させていただきましたが、今回で質問させていただくのは3回目です。大きく3点あります。

まずは道路の舗装の件です。これをやるのか、やらないのか、また、その理由をお聞きしたいです。

次に、道路幅員が現状半分しか4mになっていないのですが、残り半分は地主さんが3名いて、その方々に対して市の方で拡大してもらえるよう交渉していただけないでしょうか。地主さんとしては、測量代があるので二の足を踏む人がいると思うので、市から測量代を出していただければ、前向きに取り組んでいただけたらと考えています。

最後は、毎月発行している市報の中で、住みやすい、暮らしやすいまちづくりを目指していることをうたっておりますが、我々が住んでいる近辺は砂利道が多く、決して住みやすいところとは言えません。その辺りをどうお考えなのか、伺えればと思います。

市長 1点目については、条件が整えば実施できる場所ですが、まさに2点目の御提言と一緒に、地主さんの御協力等が得られれば、幅員が確保できれば舗装が叶いますが、住みやすいふじみ野市であったり、子育てしやすいふじみ野市であったり、様々な少しでもまちを良くし

ていく、このまちに住んで良かったとっていただけるようにしたいというのが私の願いであります。

ただ、4 mの幅員が確保できていないで舗装ができていないところは当地だけではなく市内でもかなり多く存在しています。その中で一定のルールに基づき、みなさん公平・平等に進めていかなければならないところがございますが、道路が私道から公道になることによって何か得られる、享受できることを踏まえ、地主さんだけの負担ではなく沿道の方々も協力しながら、行政もそこに対して支援するなど、全額市で負担するのは難しいですが、そういった点を踏まえつつ一定の新たな制度が作れないかということは前向きに検討していきたいと考えています。

参加者 先ほどの質問に補足させていただきます。私も道路沿いに住んでおり、小中学生と高校生がおりますが、雨が降る度に足元がびしょ濡れで帰ってきています。畑道の細い道は舗装されているにもかかわらず、通学路は舗装されていない状態なので、子育て世帯としてはどうなのかと思っています。

今も部活の子とか雨の中帰ってくる子もいる中で、この状態が放置されているのは悲しく感じていて、若い人はこういう場の中々来ないと思いますが、子どもを預けてちゃんと意見したいなと思ってこの場に来たので、真剣に考えていただけるとありがたい。

市長 この時間に来ていただき、若い方達が中々来ないという状況の中で切実な訴えをしていただいてありがたく思っています。

先ほどもお話しさせていただいたとおり、市内でも同じような状況が他にもあり、子ども達がその中で学校に通っている状況もあるわけですが、決してやりたくないわけではなく、ルールに基づいてやっている中々それが叶わないという状況であり、先ほども申し上げたとおり、多角的な観点で進めなければならないと考えております。

調整池を作る前は大井西中の辺りも本当に川のように、水に浸かって歩いている子どもたちを何とかしたいという思いから、何としても調整池を作ってきた、また、三ヶ島街道も川のようにになってしまい、これも何とかしたいというそんな思いからやってきた経緯があります。これらを踏まえ、方策を考えていきたいと思っております。

参加者 今の話の続きですが、せっかく調整池を作っていたのに、そちらに流れないで反対側に水が流れていってしまってます。そういう

状況なので、以前から何度もお願いしていますが、ただ砂利を敷くだけだと雨が溜まってしまうので、ぜひとも早く舗装を進めていただきたい。

市長 私も大雨や台風するときなど、昼夜を問わず職員と共に市内をくまなく車で回っているところではありますが、周辺の傾斜の関係でそのような現象が起こっていると考えており、職員からもそういう地域があることは聞いております。

元々の排水管の中で処理できない部分を調整池に流そうという形でやっているところまでして、全てを流すわけではなく、元々都市下水路に流れていくものはそのまま流していくところで、溢れる部分について調整池に貯めていく形となりますが、それが思った以上に降ってしまうと周りにこぼれ出ることはあり得ると思っております。

参加者 せっかく調整池が出来て市長も喜んでいたと思いますが、傾斜のせいでそれが機能しないのは残念なので、何とかしていただきたいと思えます。

市長 傾斜の関係でどうしても反対側に流れてしまっている部分について、どうやったら改善できるか、簡単には改善できないと思っておりますが、せっかく作った調整池なのに機能しないのは意味が無いので、何とかしたいと考えており、それも含めて今後検討していきたいと思えます。

参加者 どうしても今の話で舗装が無理であれば、通学路になっているところだけでも、水たまりで通れないことがないように、簡易的な舗装などはできないでしょうか。

市長 正直に申し上げますと、歴史的な課題であると考えております。皆様の前でいいかげんなお話はできませんが、歴代やってきたことに対して私は否定できない立場であり、それと同時に過去の行政の在り方は全て私の責任であり、それを引き継いだ上でやってきており、背負って進めていくべきと考えております。当時何らかの理由で幅員が足りないのに公道にしていたのは、決して旧大井町だけではなく、旧上福岡市の時代からあり、その時代はそれで何とかなくなってしまっていた部分があったのかもしれませんが。

話が少し飛躍してしまいましたが、一番分かりやすい例が公共下水道で、実は旧大井町も旧上福岡市も合併する以前から市内・町内全域に対して公共下水道を入れるという計画でしたが、具体的な時期につい

ては明記されておりました。その後、私が市長になり、市街化調整区域の皆さんにもアンケートを取った結果、公共下水道を入れたいという声の方が多かったこと、また、これまでも県から市街化調整区域の公共下水道工事をやらないのであれば、計画を見直すかと問いかけがあった中で、ただやるという計画を何十年も残しておくのではなく、本当にやるために受益者負担等を考えながら進めた上で決断をさせていただき、令和4年度から工事に着手したところでございます。

今の舗装の問題においては、過去の様々な経緯がある中で、これまでも現場は見させていただいておりますが、子どもたちが水たまりを歩く必要がなくなるよう、せめて簡易舗装にできないか、どこまで現状に対して改善ができるかなど、ここに住む皆さんが暮らしやすくなるよう真剣に考えていきたいと思っています。

参加者 別の話になりますが、私も地元の人から言われていて、通学路上に穴があるから埋めてくれと道路課に言っており、昨日から学校が始まったこともあるため、せめて穴があるところだけでも平らにしたい。

市長 わかりました。

参加者 また道路の話ですが、ここを出てすぐ市川プラスチックのところに信号があり、ケーズ電気の交差点に出るところの道中なのですが、高圧線の下にすごく木が茂っているところがあり、見通しが悪くなっています。ここ数日雨が降ったりしていますが、より見通しが悪く、車のスピードも出ていることと、朝は文京大学の方から来る子どもたちの通学路になっているため、何とかしてほしいです。

市長 確かに危ない状況ではありますが、民地であるため、所有者の方に市から剪定や伐採についてお願いする形となります。

参加者 西原住宅近くの第一公園にある会議室（西原住宅自治会集会所）について、3年前から取り壊しをお願いしているらしいのですが、今は定期的に換気しながら腐らないようにしているが、放置しておく色々な意味で危ないので、どのくらいでお願いできるのか伺いたい。この建物は、大井町と自治会とで県の補助金をもらってプレハブで建てたものです。住宅開発で建てたのはこの武蔵野会館で、あそこ（西原住宅自治会集会所）は3者でお金を出し合って建てており、西原自治会で1/3、大井町で1/3、県で1/3で出し合っており、土地は市の

ものになります。

市長 当時は3者でお金を出し合ったということではなく、県と大井町は補助金を出して西原住宅自治会が建てており、紛れもなく自治会の集会所という位置づけであります。共同で建てたわけではないので、壊すのも本来は自治会で壊さなければならないものとなります。

ただ、旧上福岡地域と旧大井地域で集会施設の取扱いが異なっていたことと、合併後20年が経過することを踏まえると、今後、集会施設について旧上福岡地域と旧大井地域で同様な形に近づけていくことを考えております。その中で、かつて西原の自治会でやったことと同様に、市や県から補助を受けつつ自治会でお金を出し合って建て替えられるかということ、若い世代を中心に自治会加入率の低下等から難しいかと思えます。そういった元々地域で持っていたものを地域で維持管理することが困難になっている状況を踏まえ、今までの自治組織連合会の正副会長達と話し合いを重ねた上で、市全体の集会施設を市に寄付、移管し、地域の負担を軽減し市のものを市のお金で解体等ができないかと考え、現在審議会で進めているところなので、もうしばらく辛抱していただきたいと思えます。

参加者 お話した会議室もその対象に入っているということでしょうか。

市長 全部の集会施設がそうなります。ただ、マンションの集会施設を使っている場合は無理なので、その場合は補助金等で管理組合の負担を減らすなどを検討しています。

参加者 時間はかかりそうでしょうか。

市長 現在、審議会で審議中なので、通るように手続きは踏んでいきたいと考えております。

参加者 武蔵野会館の管理をしておりますが、御覧のとおり、かなり老朽化しており、50年以上経過しています。今のお話で集会施設については大分分かりましたが、今後市のものとしていずれ建て替えるということと考えていただきたいと思えます。

市長 ここもその対象となっている建物であり、市全体で点在している集会施設について、自治会で持っている施設を寄付可能なように所定の整備をしていきたいところですが、自治会で建替えたばかりのところもあるため、移行期間など一定期間を置いての寄付を可能とするなども考慮していきます。

私の匙加減で解体や建て替えを決めることではないので、色々な観

点から優先度合いを考えた上で、解体や建て替えといったことになるかと考えております。

参加者 先ほどの質問に関連する内容ですが、この地域の避難所は大井西中になっております。しかし、西原住宅から大井西中までは距離があり、足が悪い地域住民もいるため、ここに避難するようにしています。そういった事情があるので、補足しておきます。

市長 分かりました。ただ、避難所のことで皆さんにお伝えしておきたいのが、誤解がないようにしていただきたいのが、大規模災害が発生した際、被災地の方全員が避難場所に行くわけではないということです。家が残っていて、暮らすことが出来る方は家で暮らします。たとえば、崩壊の危険や心配があれば当然避難となりますが、そうでなければ、電気や水道などインフラが十分に復旧しなかったとしても、家にいていただく形が基本と考えております。

しかし、身近なところで広くなくても雨風が凌げる、避難所まで行くことが困難な場合にそういった場所が身近にあることは重要であると考えております。

参加者 市政への質問ではありませんが、高速道路の側壁が年々ひどくなっており、側道に水が落ちてきたり、以前2トンくらい土砂が崩れて側道に落ちてきたりしています。現場を見てもらって危険であれば何とか高速道路を管理している所へ働きかけてもらいたい。

市長 現場を見させていただいて、川越県土事務所や NEXCO 東日本など、状況に応じて市から働きかけるようにしていきたいと思います。

参加者 側溝が曲がっている所が3箇所あり、みんな開いているため、子どもたちが誤って入らないように草を刈ったりしているが、何とかならないでしょうか。

また、上の高速道路からの水漏れであれば、公団に電話したら翌日にすぐ直してくれることもありましたが、下の西原小学校に行く道路のトンネルに入る手前については、市にお願いしますと言われてしまったので、是非お願いします。

市長 下の道路は市の方になるため、対応させていただきたいと思いません。